

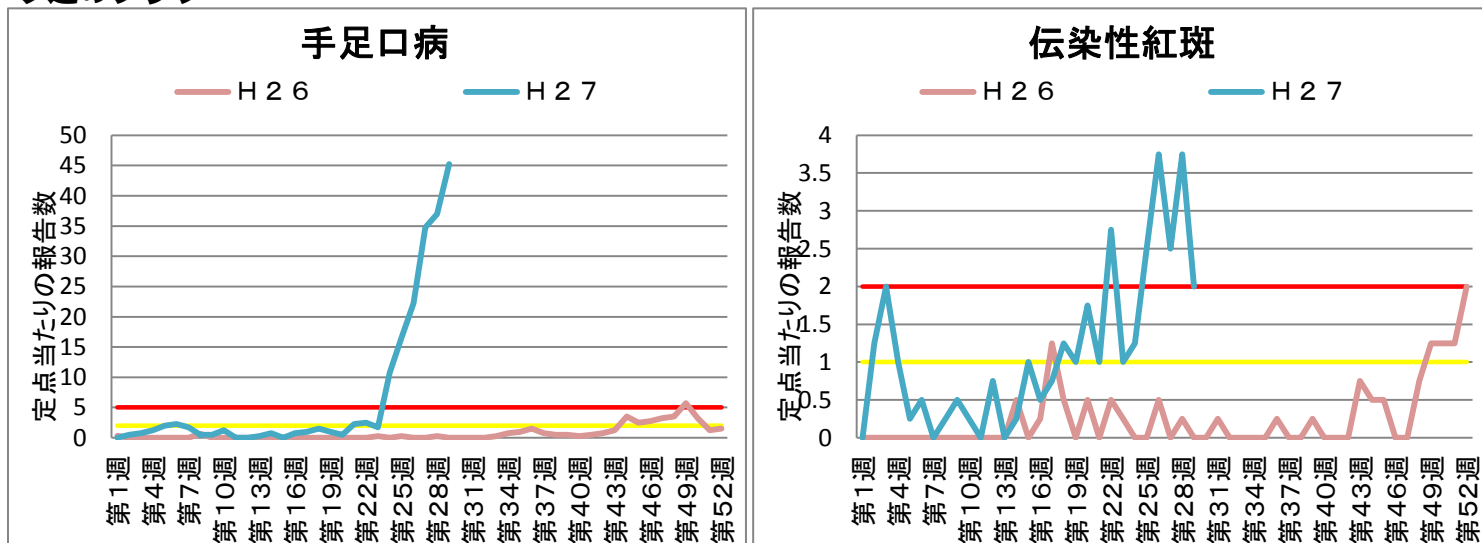
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 29 週 平成27年7月13日 ~ 平成27年7月19日

今週のコメント

伝染性紅斑(リンゴ病)の報告は減少しましたが、手足口病の報告は増加しています(定点あたり42.25件)。最も多い1歳児の割合は28週の34%から29%に減少している一方、4・5歳児の割合が17%から26%に増加しています。ほとんどは数日で回復しますが、まれに髄膜炎などを起こすことがあります。口腔内病変に対しては、刺激にならない食べ物をすすめますが、水分不足にならないようにすることが大切です。予防のために手洗い・うがいをしっかりしましょう。回復後も糞便中に2~4週間にわたってウイルスが排出されるので、排便後やおむつ処理後の手洗いも大切です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.14	手足口病	42.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	2
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	1.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	7.5	ヘルパンギーナ	1.25
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	1

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

報告週対応表

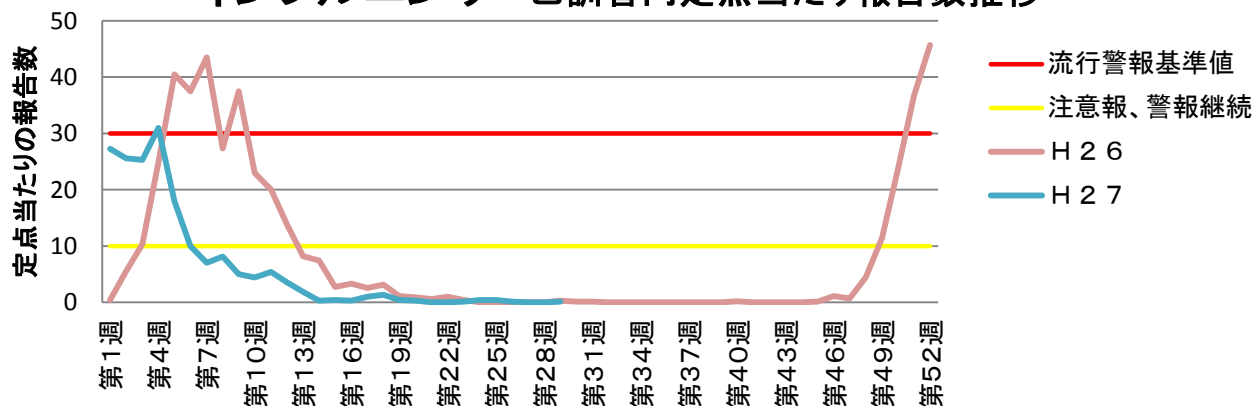
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

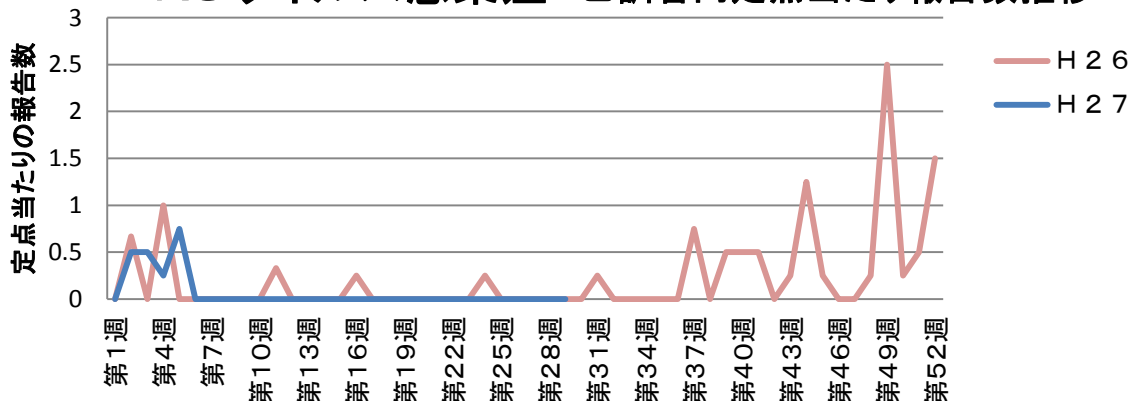
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

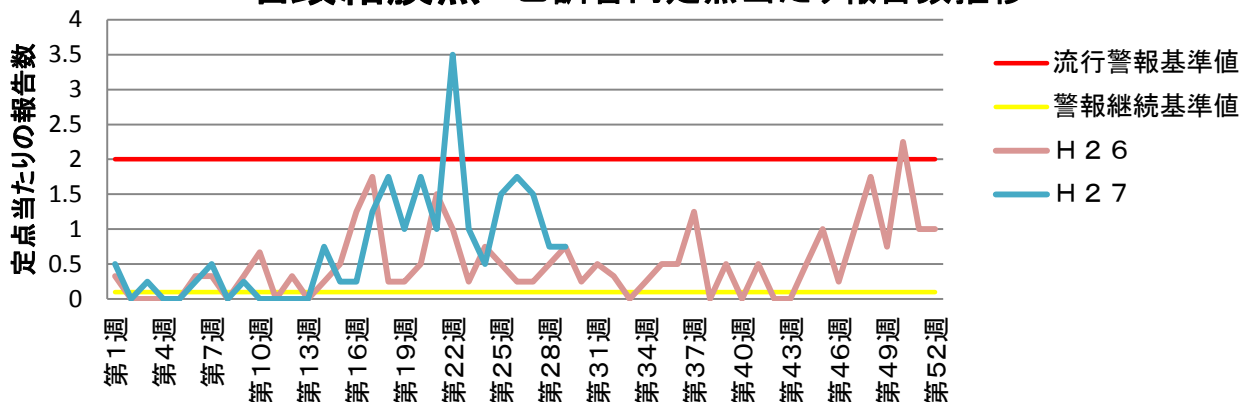
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



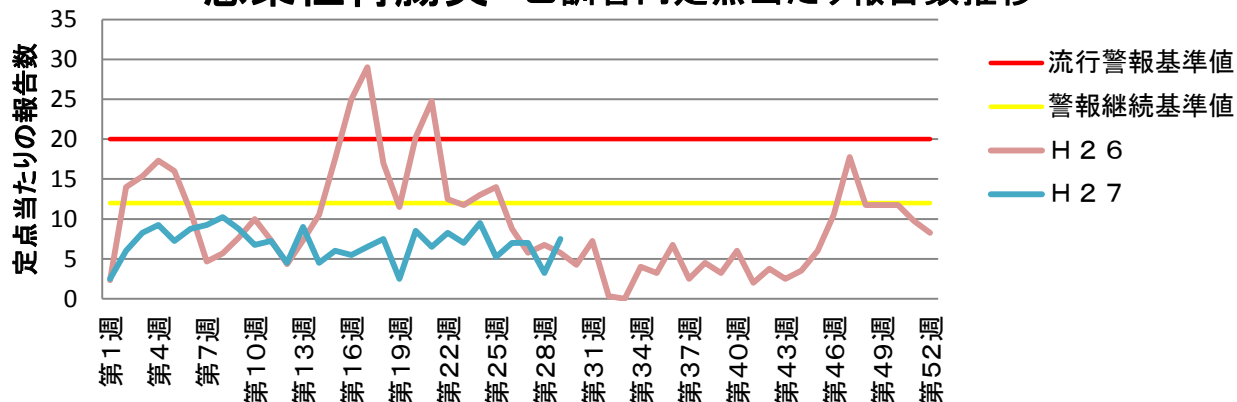
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



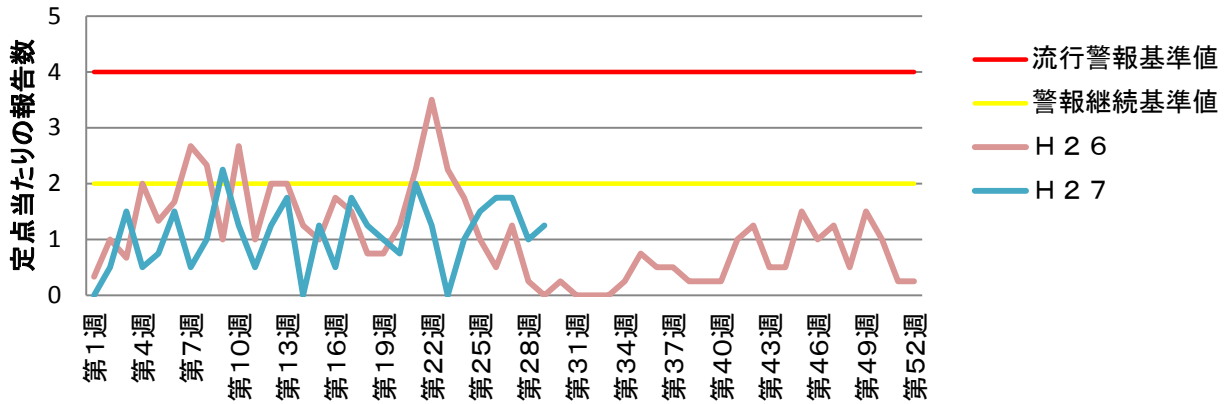
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



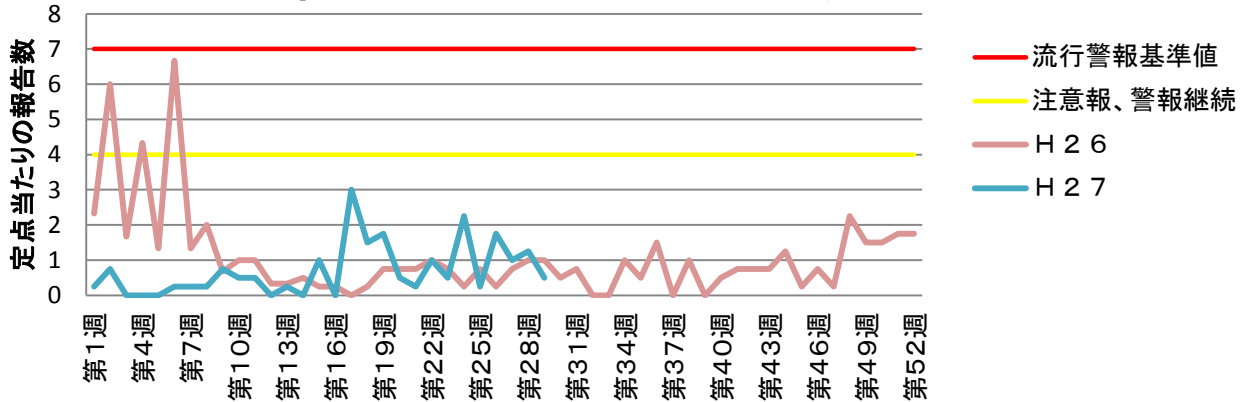
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



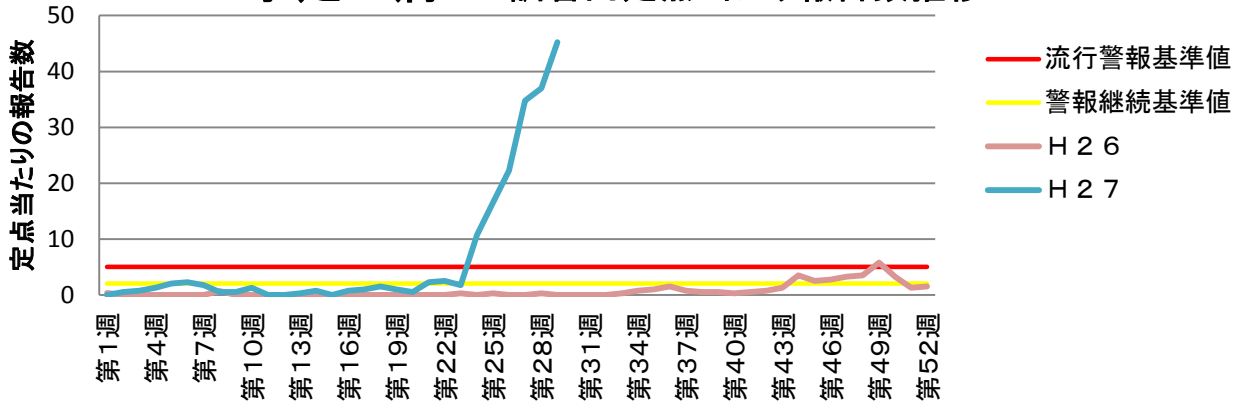
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



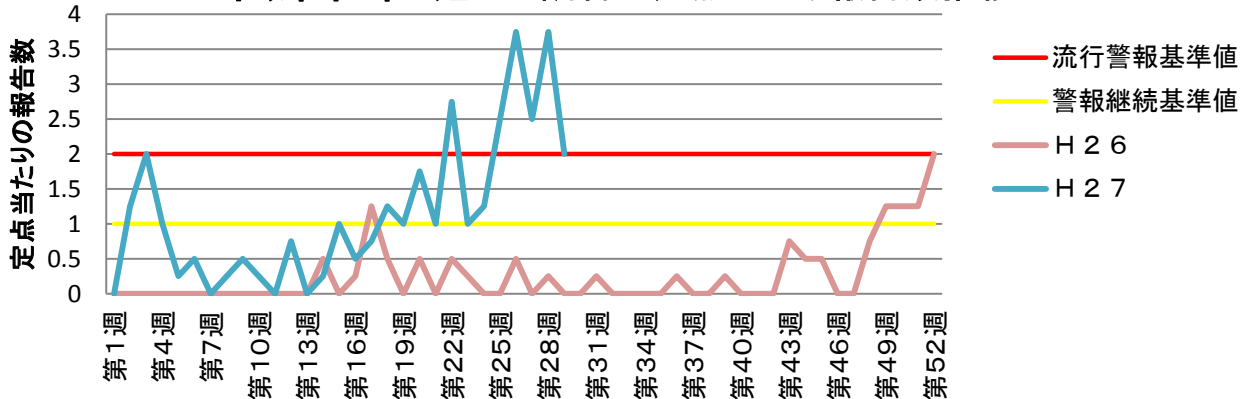
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



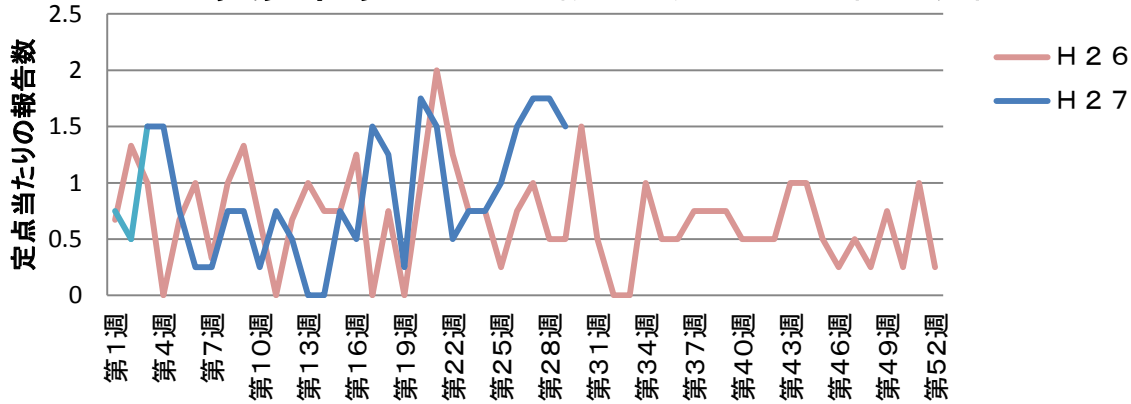
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



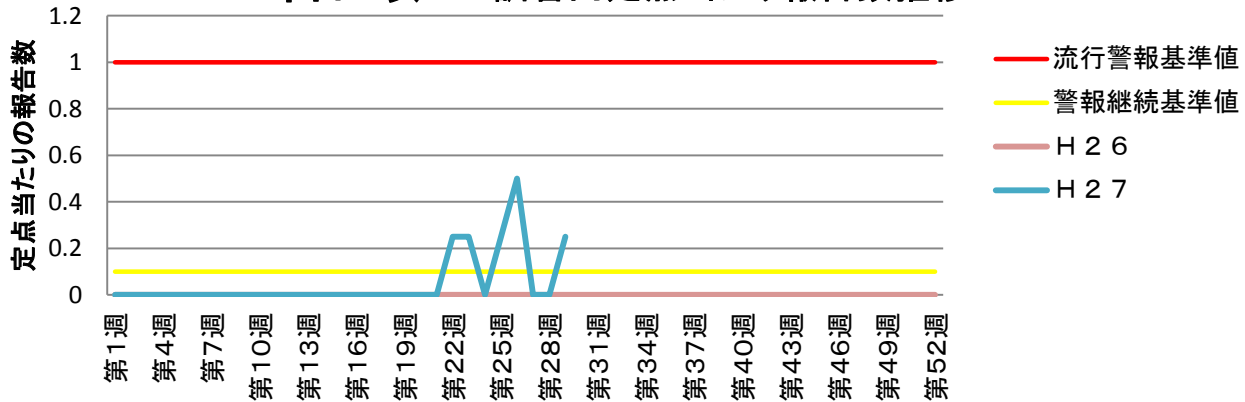
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



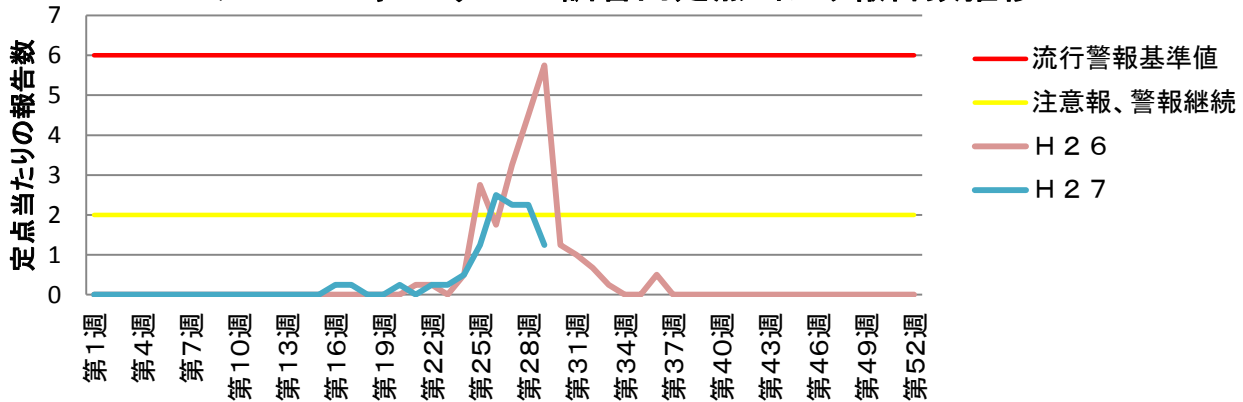
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

